

第07講：中世ヨーロッパ世界の封建社会の動向と各国の展開

- ① 中世ヨーロッパの農奴についての文に2か所誤りがあります。正しく直しなさい。
農奴は、家族や住居を持つことができた上に移転の自由も可能であったが、領主に十分の一税や貢納などを払った上に職業選択の自由はなかった。(2カ所)
- ② 中世都市成立の背景や特色について述べた文のうち、誤りを含むものを選びなさい。
①十字軍遠征により東方貿易が盛んになった ②城壁や堀に囲まれ、自治権を有していた
③三圃制などの技術発達で余剰生産物が発生した ④ギルドは友好的で協力性の高い組織であった
- ③ 次にあげる代表的な中世都市の特徴として、誤った組み合わせを1つ選びなさい。
①フランドル地方 … 大定期市 ②リユーベック … ハンザ同盟
③ヴェネツィア … 都市共和国(都市国家) ④アウグスブルク … 銀産出
- ④ ユスティニアヌスの業績を1つ選びなさい。
①西ゴート滅ぼす ②聖像禁止令發布 ③十字軍要請 ④『ローマ法大全』編纂
- ⑤ 東ローマ帝国に関して、最も関係の薄いものを1つ選びなさい。
①イクター制 ②ギリシア語の公用語化 ③第4回十字軍による占領 ④メフメト2世
- ⑥ 中世東欧おける民族とその特色の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから1つ選びなさい。
①ポーランド人 = ギリシア正教 ②ブルガリア人 = キエフ公国
③セルビア人 = 西スラヴ ④マジャール人 = カトリック
- ⑦ 各イギリス国王の業績の組み合わせとして、正しいものを1つ選びなさい。
①ジョン王 = 模範議会 ②リチャード1世 = マグナ=カルタ
③ヘンリ2世 = ノルマン朝成立 ④エドワード3世 = 百年戦争開始
- ⑧ 百年戦争に関連する文章のうち、正しいものを選びなさい。
①絹織物生産が盛んなフランドル地方争奪 ②フランスのヴァロワ朝の断絶がきっかけにある
③ジャンヌ=ダルクの登場でイギリス優勢へと変化した ④戦後、イギリスは百年戦争に突入した
- ⑨ 神聖ローマ帝国について述べた文として正しいものを1つ選びなさい。
①大空位時代を打開したザクセン家のオットー1世は、神聖ローマ帝国を成立させた。
②ハインリヒ4世は、ローマ教皇との間で、聖職叙任権を巡り対立した。
③15世紀に發布された金印勅書で皇帝選挙制が確立し、領邦国家化が進んだ。
④ハプスブルク家が事実上皇帝権を世襲化した後、この帝国はウェストファリア条約で滅亡した。
- ⑩ イベリア半島最後のイスラム教国となった王朝の都を選びなさい。
①コルドバ ②グラナダ ③トledo ④バルセロナ

